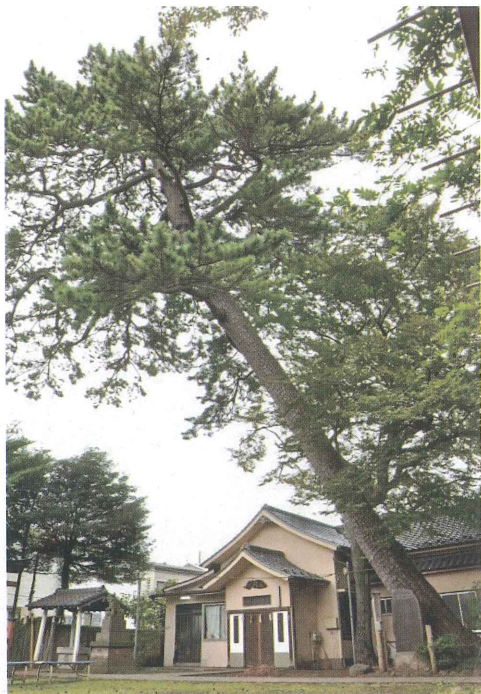


尾崎熊野神社のクロマツ



〔指定年月日〕昭和六二年三月三〇日  
〔種別〕天然記念物（植物）  
〔名称〕尾崎熊野神社のクロマツ  
〔点数〕一本  
〔所有者等〕尾崎熊野神社  
〔所在地等〕成田西三一九―五

## 尾崎熊野神社のクロマツ

樹高三二m、目通り三・二七m、根回り五・五m、樹齡は四〇〇〜五〇〇年と推定される尾崎熊野神社の御神木である。

樹姿は南側に三二度ほど傾斜しているが、樹冠面積は十分な広がりをもち、生育状況並びに樹勢は旺盛である。したがって葉色・葉形ともに正常で、また葉の密度も正常である。

近年、クロマツは都内でもきわめて少なくなってきた。こうした状況にある都内のクロマツのなかで、昭善寺（大田区）のもの（目通り三・九四m）、虎狛神社（調布市）のもの（目通り四・五m）などがよく知られているが、尾崎熊野神社のクロマツも、その優勢な樹勢から前二者に匹敵する都内有数の巨樹ということができよう。

氏子の手厚い保護のもとで管理にも注意がはらわれており、保存状態は良好である。

### 【文化財所在地】

